

新たな門出を祝う成人式

1月13日、エコパアリーナで81
2人の新成人が参加して、成人式が行
われました。
会場には、新成人を祝うメッセージ
が展示され、袋井商業高校の吹奏楽部
による演奏などで、新成人の門出を祝

いました。
新成人を代表して5人が「成人とし
て自覚をもち、周りに流されないよう
にそれぞれの夢に向かって歩いてい
くことを誓います」などと誓いの言葉を
述べました。



温もりいっぱい方言かるた

1月5日、浅羽東小学校で「浅羽の
方言かるた」を使った新春かるた大会
が行われました。
「浅羽の方言かるた」は、一昨年末
まちづくり団体「新袋井フォーラム」
と当時浅羽東小学校6年生だった児童

が協力して製作したものです。
大会には、かるたを製作した卒業生
や親子連れなど約90人が参加。参加
した皆さんは、札が読み上げられると、
真剣な表情で給札を探し、札を素早く
取っていました。



新年に誓う火の用心

1月1日、市民体育館で消防団員、消防署職員など約700人が出席して「消防出初式」が行われました。永年、消防団活動に貢献した団員や



家族、火の元優良家庭、無火災分団の表彰などが行われ、参加者した皆さんは防火への誓いを新たにしました。



昼ごはんは七草がゆ

1月11日、山梨幼稚園の年長児73人が七草がゆと豚汁作りに挑戦しました。

七草がゆの由来などを聞いた後、家庭から持ち寄った野菜や幼稚園で収穫した大根を使って調理開始。約2時間かけて、冬に不足しがちなビタミンたっぷりの七草がゆと豚汁を完成させました。「みんなで作るとおいしいね。病気をしないで、元気に過ごせますように」と自分たちで作った昼ごはんは舌鼓を打っていました。



田遊祭 伝統の舞で豊作祈願

1月7日、法多山尊永寺で「田遊祭」が行われました。あいにくの雨でしたが、境内に詰めかけた多くの参拝者が見守る中、法多山田遊祭保存会の皆さんが七段からな



る舞いを披露。舞いは、「田打ち・牛ほめ」など、米作りの動作を演じました。田遊祭は、室町時代から継承され、県指定無形民俗文化財になっています。

